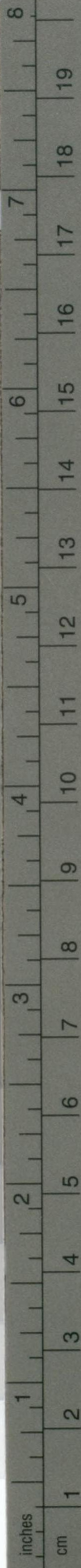


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue	Cyan	Green	Yellow	Red	Magenta	White	3/Color	Black
1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18



書誌
 第一号B
 本洲沿岸水路誌
 追補第二卷

水
47

書誌第1號B追

本洲沿岸水路誌

第 2 卷

追 補 第 2

昭和8年6月刊行

水 路 部

4

注 意

追補ヲ受領シタルトキハ下記ノ如ク取扱フモノトス。

1. 當該水路誌ノ表紙裏ニ在ル追補番號記入表ニ必要ナル填記ヲ爲ス。
2. 當該水路誌ニ貼附セル訂正用貼附紙及關係告示ニシテ同追補ニ収録セル以前ノモノハ之ヲ除去スルモノトス但シ一時關係告示ニシテ尙効力ヲ存スルモノハ此ノ限ニ在ラズ。
3. 當該水路誌ノ關係箇所欄外ニ「追補参照」ト朱記ス（活字等ヲ用フルヲ便トス）。
約二、三字程度ノ簡單ナル事項ハ當該水路誌ニ鉛筆ニテ直接加筆訂正スルモ差支ナシ。
4. 追補ハ常ニ當該水路誌ノ間ニ挟ミ保管スルヲ要ス。

水-47

本洲沿岸水路誌

第 2 卷

追 補 第 2

本追補ハ昭和8年5月20日迄ノ水路告示（8年第19號迄）及其ノ他ノ諸資料ニ據リ昭和6年11月刊行ノ本洲沿岸水路誌第2卷中ノ關係事項ヲ加除訂正シ之ヲ昭和7年6月刊行ノ同追補第1ニ追加改訂ノ上列記セルモノナリ。

* 附セルハ新ニ追加又ハ改訂記載セル記事ナルコトヲ示ス。

昭和8年6月 水 路 部

頁	行	記 事
本文目次	2	17, 18
本 文	8	20, 21
	14	9, 27
	15	19
	27	7
本文目次	2	18
本 文	1	18
	7	1
	7	9
	10	2至3
	10	7
	10	9

} 日ノ岬 ヲ 日御碕 ト改ム
 *
 * 江角浦 ヲ 惠曇港 ト改ム
 * 新潟 ノ次ニ 酒田 ヲ追加ス
 * 第1卷 ヲ 第3卷 ト改ム
 * 2時17分 ヲ 2時35分 ト改ム
 * 及氣象電報 以下ヲ次ノ通改ム
 氣象電報及無線方位測定通信ニ關シテハ水路誌附録第3卷ニ詳記シアリ、參照ヲ要ス。
 * 無線羅針局及無線標識局 ノ記事中 無線羅針局 ノ次ニ 無線標識局 ヲ追加ス
 * 尻矢崎燈臺敷地内無線羅針局 ノ前ニ 大間崎燈臺無線羅針局、ヲ追加ス



4

頁	行	記事
10	9	(但シ試験中ニ屬ス) ヲ削除ス
10	9次	* 次ノ通追加ス 無線標識局 大間崎無線標識局、尻矢崎無線標識局。
10	25	日御崎 ヲ 日御碕 ト改ム
11	19	新潟 以下 放送無線電話ニ依リ 迄ヲ次ノ通改ム 新潟ニ於テハ汽笛及新潟放送局ノ放送無線電話ニ依リ、松江、金澤、長野及秋田ニ於テハ夫々松江放送局、金澤放送局、長野放送局及秋田放送局ノ放送無線電話ニ依リ
15	25	* 約 ノ次ニ 5 ヲ追加ス
21	7次	* 次ノ通追加ス 燈 幡生驛構内ニ在リ◎灰色塗鐵骨槽上ニ4箇ノ「アーク」燈ヲ掲ゲ前後ニ2箇宛照明ス、不動白光、燈高、礎上 27 米◎本照明燈ハ煙霧海面ヲ蔽ヒ大藻字岩燈標、六連島燈臺燈光ヲ認メ難キ場合ニモ明瞭ニ認メ得ラレ西方ヨリ下關海峡ニ近ヅクニ當リ好目標ナリト謂フ。 要塞地帯 下關海峡ヨリ北方網代崎附近ニ至ル間ハ要塞地帯法ニ據ル陸軍防禦營造物ノ地帯及區域内ニ屬ス◎要塞地帯法、同施行規則及下關ニ於ケル陸軍防禦營造物ノ地帯及區域ニ關シテハ水路誌附録第1卷ヲ參照スベシ。
21	24	中藻礁 ヲ 中藻 ト稱スル暗礁 ト改ム
21	24次	次ノ通追加ス 來留見瀬ノ南西方約1.4 哩ノ處ニ土砂投棄場ヲ標示スル爲ニ1箇ノ白塗浮標ヲ碇置シアリ。
25	3	* 毎 10 秒 ヲ 毎 5 秒 ト改ム
29	4次	* 次ノ通追加ス 築磯 青海島北方約5 哩ニ廢驅逐艦ヲ沈置シ人工漁礁ヲ設置シアリ、船體上最小水深 65 米 (昭和 7 年)。
32	14	* 萩町 ヲ 萩市 ト改ム
32	23	* 城山 ノ次ニ 及市ノ北方渡船場附近ニ在ル紅色大煙突 ヲ追加ス
32	26	* 削除ス
35至17 各奇數頁	關 外	} 日ノ岬 ヲ 日御碕 ト改ム
35	6, 7	
40	17	
41	7, 11, 17, 18, 22	
42	1	

頁	行	記事
40	26	* 不便ナリ ヲ 不便ナルモ靜穩ナル日辨天島内側ハ適當ナル上陸所ナリ。 ト改ム
41	3	日ノ岬 ヲ 日御碕 (日ノ岬) ト改ム
42	23	江角浦 (エズミ) ヲ 惠曇港 (エトモ) (江角浦) ト改ム
42	25	浦内ハ ヲ 港内ハ ト改ム 浦ノ ヲ 港ノ ト改ム
43	4	* 次ノ通改ム 上記築港計畫中防波堤ハ已ニ竣工セリ
43	4次	* 次ノ通追加ス 惠曇港北防波堤燈臺 北防波堤南端ニ設置ス、白塗「コンクリート」造圓形◎明暗白光、(紅光分弧アリ)、毎 5 秒ニ 1 光(明 3 秒、暗 2 秒)、燈高、平均水面上 15 米、光達 12.5 哩、明弧全度(99 度至 144 度間ハ紅光ヲ以テ燈臺北西方約 0.6 鐘ニ在ル沖ノ中島其ノ他ノ岩礁ヲ示ス)◎無看守。 燈竿 佐陀川口ノ北側ニ紅燈 2 基 (西方ノモノハ東方ノモノヨリ低シ)、南側ニ綠燈 1 基ヲ設ク。
43	5	浦口 ヲ 港口 ト改ム 11 日 ヲ 11 月 ト改ム
43	7	此ノ浦 ヲ 港内 ト改ム
43	11	江角浦ノ東角 ヲ 惠曇港口ノ東角 ト改ム
43	16次	次ノ通追加ス 水底電線 加賀浦ノ南方大蘆浦ヨリ隱岐列島ノ島前中ノ島ニ至ル水底電線 1 條アリ。
43	20	* 次ノ通改ム 魚見鼻燈竿 名古鼻ノ北東方約 512 米ニ在ル魚見鼻上ニ設ク、不動白光、燈高、平均水面上 54.2 米、光達 15 哩
47	1次	* 次ノ通追加ス 水先 私設ニシテ水先人 2 名アリ、申込ハ株式會社岡田回漕店ニ爲ス◎乗船地點ハ美保關附近沖合◎水先料ハ總噸數 1,000 噸以下 20 圓、同 1,000 噸以上 25 圓、同 2,000 噸以上 35 圓但シ定期船ハ割引ス。
47	4	* 出張所 ノ次ニ 港務所 ヲ追加ス
47	7	境江角線 ヲ 境惠曇線 ト改ム
48	18	* 松江市アリ ノ次ニ 湖ノ東部ニ飛行機離着水場アリ ヲ追加ス
48	19	江角浦 ヲ 惠曇港 ト改ム

4

頁	行	記事
48	22	江角ヲ惠曇ト改ム
48	25至26	* 昭和7年 以下ヲ次ノ通改ム 工事略竣工シ昭和7年6月ヨリ一般ノ使用ヲ許可シアリ。
48	26次	次ノ通追加ス 無線電話放送局 松江市ノ南方高サ41米頂ノ至近ニ松江放送局アリ。
50	24	* ノ末尾ニ次ノ通追加ス ◎木槽ヶ崎東方約1.5哩ニ水深27米及19米ノ暗岩存在スト謂フ。
51	17至18	* 島後 以下 各1條 造ヲ次ノ通改ム 加賀浦ノ南方大蘆浦ニ至ル水底電線各1條、同鼻ヨリ島後西郷港口附近ニ至ル水底電線2條
53	6	* 淡水 以下ヲ 水道ノ設備ナキモ飲料水ハ良好ナリ。ト改ム
53	9	* 中ノ島 ノ次ニ 至ル水底電線2條 ヲ追加ス
53	10	* 各 ヲ削除ス
54	15	* 131度52分22秒 ヲ 131度52分33秒 ト改ム
57	16	* 末尾ニ次ノ通追加ス 加露港南東方鳥取市ニ在ル大無線電信柱及大煙突ハ入港ノ好目標ナリ。
57	20	* 加露導燈 ヲ 加露燈竿 ト改メ 低燈ハ ヲ削除ス
57	21至24	* 此ノ低燈 以下ヲ削除ス
57	25	* 是等2燈ヲ一線(185°36') ヲ 此ノ燈ト防波堤燈竿トヲ2燈一線(192°30') ト改ム
57	26	* 地方暴風標 ノ記事ヲ次ノ通改ム 地方暴風標 加露燈竿附近ニ地方暴風標アリ。
58	28次	次ノ通追加ス 網代崎燈竿 崎端附近ニ設ク、白塗鐵造脚柱◎不動白光、明弧全度、燈高、平均水面上60.6米◎無看守。
59	18次	* 次ノ通追加ス 入港目標ハ「シジミ」山ヲ可トス、海濱ノ白沙ハ遠方ヨリ明ニ認メラル◎上陸所ハ特ニ設備ナク岸田川口ノ防沙堰ニ小汽艇ヲ達着シ得ルノミ。
62	2	* (燈竿頂) ヲ削除ス
62	3	* 頂上ニ柴山港燈竿ヲ設ク ヲ 北方山腹ニ柴山港燈臺ヲ設ク ト改ム
62	21至22	* 次ノ通改ム 柴山港燈臺 大山北方ノ山腹ニ設ク、白塗六角檜形鐵造◎不動白光、明弧全度、燈高、平均水面上163米、光達14哩◎無看守。

頁	行	記事
64	2次	* 次ノ通追加ス 絹巻ノ鼻北東岸ニ長サ156米幅約1米ノ防沙堤アリ、堤端ニ燈竿ヲ設ケ不動紅光ヲ點ズ。
64	5次	* 次ノ通追加ス 修築計畫 昭和7年度至同9年度繼續事業ニ依ル修築計畫次ノ如シ 1. 在來防沙堤ノ東寄約70米ノ處ヨリ北東ニ延長600米ノ導水堤ヲ兼ネタル防沙堤ヲ築造ス。 2. 在來船溜ノ南西端ヨリ東方ニ延長120米ノ離岸導水堤ヲ築造ス。
64	10次	* 圓山川下流水面ニ水上飛行機發着場アリ。 ヲ追加ス
66	8	* 幅約20米 ヲ 幅約30米(昭和7年度計畫) ト改ム
66	9	* 岩礁多キヲ以テ ヲ 岩礁多ク且常時波浪ノ絶間無ク殊ニ冬季ハ甚シキヲ以テ ト改ム
66	23	法澤山ハ ノ次ニ 久美濱町ノ南方 ヲ追加ス
71	9	* アリ ノ次ニ次ノ通追加ス 、是等標柱間ノ實距離(海圖記載)ハ海圖記載ノ航路線上ニ於ケルモノナルニ注意ヲ要ス
76	18	網野 ヲ 木津 ト改ム
78	24	* 好目標ナリ ノ次ニ ◎川口西方約4鐘ニ在ル小學校ハ白塗ニシテ屋上ニ塔アリ北方ヨリ望ムトキハ顯著ナリ ヲ追加ス
79	5次	* 次ノ通追加ス 水中障碍物 金ヶ崎北方海面ニ水中障碍物ヲ設置シアリ、一般船舶ノ通航ニハ支障ナシ。
79	7次	舞鶴軍港 ヲ 舞鶴要港 ト改ム
79	8次	次ノ通追加ス 舞鶴要港ノ境域ハ海圖上點線ヲ以テ記載ス。 舞鶴要港ニ入港セントスル船舶ハ軍港要港規則及舞鶴要港細則ヲ遵守スルヲ要ス◎同規則及細則ハ水路誌附録第1卷ニ記載ス。
80	8次	* 次ノ通追加ス 要塞地帯 舞鶴要港ヲ中心トシテ西方、宮津灣口ノ黒崎附近ヨリ成生崎ヲ經テ東方高濱灣ニ至ル間ハ要塞地帯法ニ據ル陸軍防禦營造物ノ地帯及區域内ニ屬ス◎要塞地帯法、同施行規則及舞鶴ニ於ケル陸軍防禦營造物ノ地帯及區域ニ關シテハ水路誌附録第1卷ヲ参照スベシ。
80	8次	次ノ通追加ス 修築計畫 目下工事進行中ノ修築計畫ノ主ナルモノハ次ノ如シ。

7
4

頁 行

記事

- 1. 高野川口ヲ掘鑿シテ川口ノ幅員ヲ109乃至154米ニ擴延シ新埠頭繫船岸壁ノ周圍ヲ水深7.3米ニ、川口ノ内部ヲ水深2.7米ニ浚渫ス。
- 2. 高野川口ノ西側ニ新埠頭ヲ築出シ其ノ東側ニ延長181米、西側ニ延長199米ノ水深7.3米繫船岸壁ヲ築造シ3,000噸級汽船2隻、2,000噸級汽船2隻ノ同時繫留ニ供ス。

80 13次

* 次ノ通追加ス

挂燈浮標 新舞鶴錨地北隅松ヶ崎ノ北西方約350米ニ碇置ス、紅塗圓筒形、上部四角槽形鐵造◎閃白光(毎3秒ニ1閃)、燈高、水面上3米、光達4哩◎本挂燈浮標ハ新舞鶴錨地ニ出入スル部外船舶ノ航路角點ヲ示ス。

80 20

* 8哩 ヲ 12哩 ト改ム

87 14

測候所ノ西方 以下 二階建家屋 迄ヲ削除ス

87 17至

88 2

* ヲ次ノ通改ム

築港 金ヶ崎ノ南西端ヨリ西方ニ向ヒ防波堤ヲ、南濱笹ノ川口ノ西岸ヨリ北方ニ向ヒ防沙堤ヲ築出シ、金ヶ崎ノ南西方ヨリ南濱笹ノ川口ニ至ル間ニ繫船岸壁、繫船棧橋、物揚場等ヲ築設シアリテ防波堤内ノ水深ハ5乃至13米アリ。

繫船岸壁及繫船棧橋 金ヶ崎ノ南岸ニ延長165米、水深8.5米ノ繫船岸壁アリ6,000噸級汽船1隻ノ繫留ニ供シ、其ノ内方ニハ水深7.3米、延長199米ノ繫船棧橋アリテ3,000噸級汽船2隻ノ繫留ニ供ス、又南濱兒屋ノ川口ト笹ノ川口トノ間ニハ水深7.3米、延長290米ノ繫船岸壁アリテ2,000噸乃至3,000噸級汽船ノ繫留ニ供ス。

88 3

繫船浮標6箇アリ ヲ 繫船浮標4箇(鐵道省營2箇、縣營2箇)アリ ト改ム

88 4至11

* 次ノ通改ム

敦賀港突堤燈臺 突堤西端ニ設ク、白塗圓筒形「コンクリート」造◎明暗白光、毎3.5秒ニ1光(明2秒、暗1.5秒)、明弧全度、燈高、平均水面上13.7米、光達10哩◎無看守。

敦賀港南防沙堤燈臺 南防沙堤北端ニ設ク、紅塗圓筒形「コンクリート」造◎明暗紅光、毎3.5秒ニ1光(明2秒、暗1.5秒)、明弧全度、燈高、平均水面上13.7米、光達7.5哩◎無看守。

88 15次

次ノ通追加ス

上陸所 稅關支署前及警察署前ニ埠頭アリ、上陸ニ適ス◎稅關支署前ノモノハ水深2.4乃至3米、汽艇ノ達着ニ便ナリ。

頁 行

記事

89 17次

次ノ通追加ス

食糧品ハ少シ、大量ヲ要スルトキハ附近ノ鐵道沿線及大和地方ヨリ移入シテ供給ス◎魚類ハ概ネ市場ニ於テ求メ得ベキモ時化續キノトキハ鹽魚ヲ使用スルコトアリ。

89 23至24

其ノ東方至近 以下 著屋ト共ニ 迄ヲ削除ス

91 8

* 淺礁アリ ヲ ニ互リ淺礁アリ、礁端ニ燈標ヲ設ケ紅燈ヲ掲グ ト改ム

91 17次

* 次ノ通追加ス

繫船岸壁 三國港驛南東方海岸約500米ニ互リ繫船岸壁ノ設備アリ、水深2乃至4米ニ浚渫ス。

91 23

短舟上陸場 ヲ 上陸所 ト改ム

92 22次

次ノ通追加ス

沈船 三國港防波堤燈臺ノ160度2.3鏈ニ1沈船(昭運丸)アリ(昭和6年)。

95 10次

次ノ通追加ス

無線電話放送局 金澤市ノ南西方ニ金澤放送局送信所アリ。

95 27至28

2 船入場アリ ノ次ニ 又西防波堤ノ西方、第1防波堤トノ間ニ小防沙波除堤アリ ヲ追加ス

96 1

一ノ宮ニ ノ次ニ 郵便局(電信及電話取扱)及 ヲ追加ス

96 1次

次ノ通追加ス

船入場内ハ吃水1米内外ノ發動機船ノ好避泊地ナルモ偏西強風時ニハ波浪ノ侵入スルコトアリテ沿岸漁船ノ利用スルモノ多カラズ◎汽艇ハ防波堤内ノ岸壁ニ達着スルコトヲ得。

北洋商事株式會社ノ重油「タンク」2箇アリ、常ニ重油約50噸ヲ貯藏ス◎清水ハ井水ヲ使用シ水量豊富ナルモ船舶ニ供給スル設備ナシ◎食糧品ハ米、麥、魚類等若干ノ供給ハ可能ナリ。

96 5

東部 ヲ 頭部 ト改ム

96 12

福浦燈臺 ヲ 福浦假設燈竿 ト改ム

白塗四角形木造 ヲ 木造竿柱、塗裝セズ ト改ム

96 13

20.3米 ヲ 27.5米 ト改ム

96 26次

* 次ノ通追加ス

地下ノ洞燈竿 高岩崎ノ北東方1鏈、地下ノ洞防波堤南端ニ設置ス、白塗槽形鐵造◎不動白光、明弧全度、燈高、平均水面上12米、光達4哩◎無看守。

7
4

頁	行	記 事
		酒見川口燈竿 高岩崎ノ北東1.4哩、酒見川口ニ設置ス、竿柱木造○不動紅光、明弧全度、燈高、平均水面上 17 米、光達 2 哩○無看守○6月7月ハ點燈ヲ休止ス。
97	14	龍ヶ崎 ノ次ニ (タツガサキ) (輪島崎) ヲ追加ス
97	25至26	◎字河井町 以下ヲ次ノ通改ム 川口ニ小艇ノ達着可能ノ箇所アリ◎ 警察署、郵便局 (電信及電話取扱)、測候所、工業試験場、避病院、私設無線電信局、地方暴風標等アリ◎穴水、飯田及宇出津ニ至ル乗合自動車ノ便アリ。
98	5	輪島崎 ヲ 龍ヶ崎 ト改ム
98	6	ノ末尾ニ次ノ通追加ス ◎錨地附近 5 米等深線内ニ漁網アリ警戒ヲ要ス。
98	6次	次ノ通追加ス 高巢山、毛勝山(輪島市街ノ南方ニ聳ユ)、防波堤燈臺、天神山ト觀音山トノ中間ニ在ル 2 基ノ鐵造槽形無線電信柱等ハ入港目標トシテ適當ナリ。
98	9	此ノ ヲ削除ス
99	11次	次ノ通追加ス 遭崎ノ南方ニ在ル寺家(ジケ)ノ赤崖ハ顯著ナリ。 潮流 能登半島東側ハ漲潮流ハ南流、落潮流ハ北流シ沿岸距濱 5 哩以内ニ於テハ其ノ流速ハ概ネ 1 節以下ナルガ如シ。 漁網 能登半島東側ヨリ富山灣ニ至ル沿岸ハ季節ニ依リ到ル處漁網ヲ展張シアリテ沿岸航海ノ支障ヲ爲スコト珍シカラズ距濱 2 哩ニ達スルモノハ異ト爲スニ足ラズ、漁網ハ概ネ海岸線ト直角ニ展張シ最モ沖合ニ魚溜アリテ監視船數隻晝夜碇泊ス、晝間ハ此等ノ監視船及木材等ノ浮泛物ニ依リ漁網ノ所在ヲ認メ得レドモ夜間ハ燈火ヲ點ゼザルモノ大多數ナルヲ以テ夜間又ハ狹視界ノ際ハ接岸航行上留意ヲ要ス、而シテ距濱 3 哩以内ニ立入ラザルコト肝要ナリ。 飯田灣、宇出津、七尾北灣ノ灣口、氷見、伏木等ノ沿岸各地ハ時期ニ依リ入泊不可能ナルコトアリ、然レドモ夏季ノ漁網ハ概シテ其ノ數少キヲ以テ 8 月上旬ヨリ 10 月中旬迄ノ間ハ沿岸各地概ネ漁網ノ障礙少キヲ例トス、但シ此ノ季節ハ鱈漁期ナルヲ以テ灣内及沖合ニ竹又ハ木材ヲ筏様ニ縛セル鱈附漁具ヲ見ルコト多シ。
99	13	* 不動白光 ヲ 明暗白光、毎 6 秒ニ 1 光 (明 3 秒、暗 3 秒) ト改ム
99	19至20	栗崎礁 ノ記事ヲ次ノ通改ム

頁	行	記 事
		栗崎礁 (クリサバグリ) 遭崎ノ南東方約 2 哩ニ在ル水深 20 米以下ノ暗礁ニシテ北東、南西ノ長サ約 1 哩、最淺部ハ其ノ中央ニ在リテ水深 15 米アリ。
99	23至24	ヲ次ノ通改ム
		長手崎 (小泊鼻) 祿剛崎ノ南方 5 哩ニ在ル低角ニシテ角上ニ白山ノ森 (雲津ノ森)ト稱スル顯著ナル松林アリ、高サ 63 米。
99	25	小泊鼻 ヲ 長手崎 ト改ム
99	27	7.3 米 ヲ 7 米 ト改ム
99	27至28	54 米 ヲ 55 米 ト改ム
100	3	郵便局 ノ次ニ (電信及電話取扱) 及傳染病院 ヲ追加ス
100	4至13	ヲ次ノ通改ム
		諸礁 飯田灣内、北濱附近ニ在ル辨天島ノ約 252 度 1.5 哩ノ處ニ水深 5.7 米ノ 1 點礁アリ ◎ 白礁 (シログリ) ハ上記點礁ノ南東方、辨天島ノ約 238 度 1.4 哩ニ在ル淺礁ニシテ水深 5.9 米及 6 米アリ◎ 善助ノ大澤瀨 ハ灣ノ西濱附近ニ在ル見附島 (ミツキ) ノ約 26 度 1.3 哩ニ在ル 2 箇ノ孤立礁ニシテ水深ハ 3.4 米及 3.5 米アリ◎ 天保礁 ハ見附島ノ東方 1 哩餘ニ在ル南北ノ長サ 7 鏈、幅 4 鏈、水深 20 米以下ノ淺礁ニシテ最淺部ハ其ノ稍北部ニ在リテ水深 11.3 米アリ。
		錨地 飯田灣内ハ岩礁多ク、錨泊シ得ル水域ハ廣カラズ、向海風時ニハ鵜飼村落ノ東方適當ノ水深ノ處ニ泥底ノ良泊地ヲ得ベシ。
		目標 見附島及鵜飼村落ノ北東方ノ崖ハ遠望顯著ナリ◎又鵜飼村落ノ中央ニ白光電燈 1 箇ヲ點ズ。
		漁網 灣内ハ四季共ニ一面ニ漁網ヲ展張シアリテ距濱 3 哩ニ達スルモノアルヲ以テ入泊困難ナリ。
100	15	ノ末尾ニ次ノ通追加ス ◎輪島及穴水ニ至ル定期自動車便アリ。
100	16至17	物資 ノ記事ヲ次ノ通改ム 物資 米、家禽、鶏卵、野菜、魚類及酒類等若干ヲ供給スルコトヲ得◎清水ハ船舶給水ノ設備ナシ。
100	18	ヲ削除ス
100	26	31 米 ヲ 23 米 ト改ム
		叢樹ヲ有シ ノ次ニ 灣内ニ於ケル ヲ追加ス
100	27次	次ノ通追加ス

7
4

頁	行	記事
		上陸所 灣口南側ニ九十九樓ト稱スル旅館アリ海上ヨリ望見シ得ベシ、其ノ前面ノ岸壁ヨリ上陸スレバ約 10 町ニシテ小木町ニ達シ得ベシ、然レドモ現今ハ新道開鑿セラレシヲ以テ南支灣ナル 釜中入 (カマナカイリ)(釜中ノ入)ノ灣奥ニ上陸スレバ隧道ヲ通り直ニ小木町ニ至リ得ベシ。
		燈竿 日和山鼻ニ燈竿アリ不動白光(電燈)ヲ點ズ。
101	2	「ミグリ」ヲ 大波瀬 (ミグリ) ト改ム
101	5至6	ヲ削除ス
101	7	(昭和5年調)、ノ次ニ 郵便局(電信及電話取扱)アリ ヲ追加ス
101	13次	次ノ通追加ス
		大波瀬ノ東端ニ1燈竿アリ、竿柱上ニ不動紅光(電燈、無看守)ヲ點ズ◎上記ノ白燈ト此ノ紅燈トヲ一線(281°40')ニ見テ入進スレバ明木礁ヲ避クルコトヲ得。
101	19至24	ヲ次ノ通改ム
		宇出津港 (ウセツ) 小木港ノ西方約3.5 哩ニ在リ、石川縣下第1ノ漁港ニシテ灣入0.5 哩、幅2 鏈、水深6乃至10 米、泥底ニシテ南風ノ外能ク諸風ヲ遮蔽ス◎港口ノ東側ニ 棚栗礁 及 下田ノ中礁 ト稱スル水深1乃至2米ノ礁脈アリ又港口ノ西側ニハ「 イモジ 」礁ト稱スル高潮洗岩及 長島 ト稱スル干出岩アリテ航路ハ上記棚栗礁ト「イモジ」礁トノ間ニ在リ。
		宇出津町ハ人口5,871(昭和5年調)、附近ニ於ケル漁船ノ根據地ニシテ郵便局(電信及電話取扱)、警察署及縣立水産試験場アリ、魚類及淡水ヲ辨ジ得ベシ、然レドモ淡水ハ良質ナラズ船舶給水ノ設備ナシ◎水産試験場構内ニ地方暴風標アリ。
		燈竿 宇出津港口ノ西角上ニ在ル竿柱ヨリ不動白光(電燈)ヲ顯ハス。上記ノ外灣首ニ在ル上陸所ニ白光電燈ヲ點ズ。
		羽根ノ中礁 宇出津港口ノ西角上ニ在ル燈竿(電燈)ノ115度9.1 鏈、距濱2.5 鏈ニ在リ、水深2.7 米、周圍ハ急深ナリ◎此ノ礁ト陸岸トノ間ニ水深0.9 米及1.4 米ノ2淺礁アリ。
102	5	大口瀬戸 ヲ 大口 ト改ム
102	7至8	水深18乃至27 米ニシテ ヲ 水深18乃至27 米アレドモ沖波鼻ヨリ南方6 鏈ノ間ハ常時漁網ヲ展張スルヲ以テ注意ヲ要ス又 ト改ム
102	13	郵便局 ノ次ニ(電信及電話取扱)ヲ追加ス
102	23次	次ノ通追加ス
		漁網 10月ヨリ翌年7月迄ノ間ハ灣口及灣内ニ漁網ヲ展張シアリ。

頁	行	記事
104	14	目標 ノ記事ヲ次ノ通改ム
		目標 灣口ノ北方ニ在ル圓山、二子山及灣ノ西方ニ在ル別所嶽及鉾打山ハ好目標ナリ、圓山ハ圓頂ヲ成シ顯著ニシテ二子山ハ東方ヨリ望メバ單頂ヲ呈シ南方ヨリ望メバ双頂ヲ呈ス附近平低ナルヲ以テ顯著ナリ。
104	24	野崎 ヲ 松鼻(野崎) ト改ム
104	25	小口瀬戸 ヲ 小口 ト改ム
104	25至26	「租濱出シ」ヲ「祖濱出シ」ト改ム
104	26	松ヶ崎 ノ次ニ〔宮崎〕ヲ追加ス
105	4	「和歌出シ」ヲ「若出シ」(ワカダシ) ト改ム
105	7	25 乃至 27 米 ヲ 25 乃至 30 米 ト改ム
105	8	7.3 米 ヲ 7 乃至 8 米 ト改ム
105	13	1.5 哩 ヲ 4.5 鏈 ト改ム
105	17, 20, 28	「租濱出シ」ヲ「祖濱出シ」ト改ム
105	19	259° 24' ヲ 258° 40' ト改ム
105	23	野崎 ヲ 松鼻 ト改ム
		約3 鏈 ヲ 2.5 鏈 ト改ム
		水深5 米 ヲ 水深4.2 米 ト改ム
105	24	3.2 米 ヲ 3.7 米 ト改ム
105	25至27	目標 ノ記事ヲ次ノ通改ム
		目標 (メグリ) 灣口ノ南角觀音崎ノ南東方約7 鏈ニ目標ト稱スル狹長ナル淺礁アリ、南北ノ2部ニ分レ、共ニ長サ1 鏈ニ互リ其ノ最淺部ハ北方ノモノハ水深1.3 米、南方ノモノハ水深1.5 米アリ、此ノ礁ト觀音崎トノ間ニハ水深1.4 米岩ノ外多數ノ淺礁散布ス。
105	28	「租濱出シ」ヲ「祖濱出シ」(「租濱出シ」) ト改ム
106	3	「租濱出シ」ヲ「祖濱出シ」ト改ム
106	4	1.8 米ヨリ淺シ ヲ 1.1 米 ト改ム
106	7至8	七甲礁 ノ記事ヲ次ノ通改ム
		七甲礁 灣口ノ北角松鼻ノ西方ナル北濱ヨリ約1 鏈ノ間七甲礁ト稱スル礁脈擴展ス、最淺部ハ其ノ西端ニ在リテ水深3.6 米アリ、此ノ礁脈ノ南東端ニ三角形頭標附紅塗圓錐形浮標ヲ碇置ス。
106	10	鱸礁ト稱シ ノ次ニ 最淺部ノ水深3.5 米 ヲ追加ス
		6.4 米 ヲ 6.1 米 ト改ム
106	11至12	ヲ次ノ通改ム

7
4

頁	行	記 事
		灣内ノ諸險及諸嶼 灣ノ北濱ヨリ約1.2哩ノ間礁脈擴延シ、 烏島 (高サ29米)、 寺島 (高サ29米)、 烏帽子島 (高サ20米) 及 節島 (コシキ) (高サ11米) 等ノ小嶼アリ、此ノ附近ニハ一帯ニ干出岩及淺礁散布ス。
106	14	5.9 米 ヲ 6.2 米 ト改ム
106	16	礁上ノ最小水深ハ5米ニシテ其ノ北方ニ ヲ 南北ノ長サ約1.5 鐘、最淺部ハ其ノ南端ニ在リテ水深3.8米アリ、此ノ礁ノ北方ニ ト改ム
106	18至20	大瀬 ノ記事ヲ次ノ通改ム
		大瀬 淺礁ノ西方ニ當リ能登島南岸ノ宮崎ノ南方約7 鐘ノ處ニ大瀬ト稱スル暗礁アリ、東西ノ長サ約2.7 鐘ニシテ最淺部ハ其ノ西端ニ在リテ水深4.4 米アリ◎此ノ礁ノ西方2.5 鐘ニ挂燈浮標ヲ碇置ス。
106	21	「和歌出シ」 ヲ 「若出シ」 (ワカダシ) (「和歌出シ」) ト改ム 大杉崎 ノ次ニ (ウスギ) ヲ追加ス
106	21至22	「和歌出シ」 ヲ 「若出シ」 ト改ム
106	22	4.5 米 ヲ 4.7 米 ト改ム
107	1	「和歌出シ」 ヲ 「若出シ」 ト改ム
107	4	1.4 米 ヲ 2.9 米 ト改ム
107	5	2.3 米 ヲ 3.4 米 ト改ム
		「天神合せ」 ノ次ニ (テンジンナワセ) ヲ追加ス
		4.5 米 ヲ 4.7 米 ト改ム
107	14至15	7.3 乃至9.1 米 ヲ 8 乃至9 米 ト改ム
107	16	2.2 米 ヲ 3 米 ト改ム
107	17至23	ヲ次ノ通改ム
		府中町埠頭 市街ノ略中央ニ上陸用埠頭アリ、府中町埠頭ト稱ス、長サ91 米、幅22 米ノ石造埠頭ニシテ其ノ外端及東側ハ水深2.8 米以上アリテ小汽船ノ發着ニ便ナリ、其ノ外端至近ニ在ル税關支署ノ建築物ハ赤色屋根ヲ有シ好目標ナリ◎此ノ埠頭ノ外端ニ白塗ノ鐵造槽形燈竿アリ、不動白光燈 (電燈) ヲ掲グ◎此ノ燈光ハ市街ノ燈火ノ爲ニ著シカラズ。
		棧橋 棧橋ノ主ナルモノハ矢田新棧橋ニシテ延長115 米、水深6 乃至7 米、棧橋上ニハ臨港鐵道アリテ七尾港驛ニ連絡ス、此ノ棧橋ハ目下修築工事中ニテ現在ハ使用セズ。 矢田新棧橋ノ外府中町埠頭ノ西方ニ三島町棧橋アリ、灣内ヲ巡航スル小汽艇ノ發着所ナリ。
		七尾港假設挂燈浮標 矢田新埠頭延長工事中其ノ外端ヲ標示スル爲愛宕

頁	行	記 事
		山忠魂碑ノ 64 度約8.4 鐘ニ碇置ス、黒塗圓筒形鐵造◎閃白光、毎3 秒ニ1 閃、明弧全度、燈高、水面上3.7 米、光達8 哩。
108	15至19	ヲ次ノ通改ム
		給水 船舶給水ハ町營ニシテ水質清純飲料ニ適シ水量豊富ナリ、30 噸及25 噸ノ水槽船各1 隻及唧筒附曳船1 隻ヲ有ス、給水能力1 時間20 噸 (1 晝夜ニ約150 噸) ナリ◎給水料ハ給水口ニ於テハ1 噸ニ付20 錢、錨泊地ニ於テハ1 哩以内ノ場合ハ1 噸ニ付45 錢 (七尾港ニ船籍ヲ有スル船舶ニ對シテハ1 噸ニ付40 錢) ニシテ1 哩以上ノ場合ハ1 哩ヲ増ス毎ニ5 錢ヲ増徴シ、暴風雨ノ際又ハ夜間ハ總テ倍額トス (水路誌附録第1 卷參照)。
108	21至22	◎食糧品 以下ヲ次ノ通改ム
		◎牛肉ハ能登牛ノ産池ニシテ良質ノ牛肉ヲ得ルコト容易ナリ、魚類ハ相當ニ大量ヲ供給スルコトヲ得、穀類、蔬菜、鶏卵、果物等ハ地方ノ需要ヲ充スニ過ギザレドモ少量ノ供給ハ可能ナリ、大量ヲ要スル場合ハ金澤方面ヨリ移入ス。
108	27	ノ末尾ニ次ノ通追加ス
		◎須曾沖ニ投錨スル場合ハ之ヲ避クル注意肝要ナリ。
108	28至	白色大煙突 ノ次ニ (高サ83 米) ヲ追加ス
109	1	
109	2	赤色煙突 ノ次ニ 及須曾ノ屏風 ヲ追加ス
109	2次	次ノ通追加ス
		須曾ノ屏風及大杉崎ハ土砂採收ノ爲掘鑿シツツアルヲ以テ漸次形狀ヲ變ジツツアリ注意ヲ要ス。
109	3	内方ニ ヲ 基部ニ ト改ム
109	14	(259° 24') ヲ (258° 40') ト改ム
109	15	「租濱出シ」 ヲ 「祖濱出シ」 ト改ム
109	16	福浦崎 ヲ 新崎 (福浦崎) ト改ム
		200 度 ヲ 195 度 ト改ム
109	20至23	* 次ノ通改ム
		水先 私設ニシテ水先人1 名アリ、申込ハ樋爪商事株式會社巴漕部ニ爲ス◎乗船地點ハ觀音崎ヨリ約2 哩ノ沖合、使用船ハ灰色塗發動機船 (25 噸) ◎水先料ハ入港ノ場合總噸數1,000 噸未滿16 圓、同2,000 噸未滿20 圓、同3,000 噸未滿28 圓、同4,000 噸未滿30 圓、同5,000 噸未滿32 圓、同6,000 噸未滿36 圓、同7,000 噸未滿40 圓、同7,000 噸以上42 圓、出港ノ場合ニハ6,000 噸未滿迄ハ前記料金ヨリ何レモ4 圓少ク、7,000 噸未滿及以上ハ各8 圓



頁	行	記事
		少シ。
		尙入港船舶船長ヨリ特ニ伏木港水先區水先人組合ニ要請セバ出動嚮導ス。
109	21, 26	小口瀬戸 ヲ 小口 ト改ム
109	24	2時41分 ヲ 2時48分 ト改ム
109	26至27	風ノ影響 以下ヲ次ノ通改ム
		微弱ニシテ一定セズ、概ネ風向ニ左右セラレ或ハ灣内ニ向ヒ或ハ灣外ニ向ツテ流ル。
110	1	3.6乃至8.2米 ヲ 4乃至8米 ト改ム
110	4至6	ヲ次ノ通改ム
		和倉村落ノ前面ニ石造突堤ヲ築出シ、其ノ外端ニ小棧橋ヲ設ク、總延長約80米、七尾通ヒノ小蒸汽船ノ發着スル所ニシテ上陸ニ便ナリ。
110	7	礦泉 ヲ 溫泉 ト改ム
110	11	小口瀬戸 ヲ 小口 ト改ム
110	18至19	高サ508米 ヲリ 遠望スルコトヲ得 迄ヲ次ノ通改ム
		高サ565米、附近ニ於ケル最高峯ニシテ山頂ハ鈍圓錐形ヲ呈シ、遠望スルコトヲ得。
110	20	285米 ヲ 273米 ト改ム
110	25至	氷見港 ノ記事ヲ次ノ通改ム
111	2	
		氷見港 大泊鼻ノ南西方約7哩ニ在リ、氷見町ヲ貫流スル上庄川ノ川口ノ北方ヨリ延長400米ノ防波堤ヲ、川口ノ南方ヨリ延長約154米ノ突堤ヲ築出シ、更ニ突堤ノ外方ニハ延長45米ノ第2防波堤ヲ築出シ、漁船ノ避泊及漁獲物ノ陸揚ニ便ナラシム○防波堤内ハ水深1乃至3米アリ。
		防波堤ノ外方ニハ高サ12米ノ唐島アリ稍北東ノ風浪ヲ遮蔽ス。
		氷見町ハ人口14,335(昭和5年調)、警察署、郵便局(電信及電話取扱)及鐵道停車場アリ、省線氷見線及中越線ニ依リ伏木ヲ經テ高岡ニ通ジ、北陸本線ニ連絡ス。
		地方暴風標 氷見町海岸ノ略中央ニ在ル湊川ノ川口ニ地方暴風標アリ。
		燈竿 氷見港ニ下記ノ燈竿アリ。
		(1)、防波堤端燈竿 紅光電燈ヲ點ズ。
		(2)、突堤外端燈竿 綠光電燈ヲ點ズ。
		(3)、朝日山公園燈竿 氷見町ノ略中央ニ在ル朝日山公園内ニ1燈竿アリ、白光電燈ヲ點ズ。
		(4)、湊川口燈竿 湊川口ノ兩側ニ各1箇ノ燈竿アリ、共ニ白光電燈ヲ

頁	行	記事
		點ズ。
111	6	燈臺 ヲ 防波堤端燈臺(低燈) ト改ム
111	7	* 3乃至7.4 ヲ 4.8乃至6.5 ト改ム
111	10至11	7.3乃至12.8米 ヲ 7乃至10米 ト改ム
111	12	231度 ヲ 230度 ト改ム
111	16	* 213 ヲ 100 ト改ム
111	18	* 外端 ノ次ニ 附近 ヲ追加ス
111	22	193° 42' ヲ 194° 20' ト改ム
111	23次	次ノ通追加ス
		伏木港假設掛燈浮標 右岸防波堤ノ外方、防波堤端燈臺(低燈)ノ約76度100米ノ處ニ設ク、紅塗圓筒形鐵造◎閃紅光、毎3秒ニ1閃、明弧全度、燈高、水面上3.6米、光達6哩。
		目標 伏木町ノ背後ニ在ル勝興寺ノ殿堂、燈臺及六渡寺ノ東部ニ在ル神社ノ森等ハ目標トスルニ適ス。
111	24	* 5米 以下ヲ次ノ通改ム
		4乃至6米ニシテ2,000噸級
111	26	* ヲ次ノ通改ム
		繫船岸壁 前記棧橋ニ接シテ其ノ下流ニ延長178米ノ岸壁アリ、1,000乃至1,500噸級船舶2隻ノ繫留荷役可能ナリ。
112	1	* 12,809(昭和5年調) ヲ 13,072(昭和6年末調) ト改ム
112	8至9	地方暴風標及暴風雨標 ノ記事ヲ次ノ通改ム
		地方暴風標及暴風雨標 防波堤端燈臺(低燈)ノ西方1.3哩ノ處ニ地方暴風標、測候所構内ニ暴風雨標アリ、又新湊町救難組合屋上ニ地方暴風標アリ。
112	20至22	* 給水 ノ記事ヲ次ノ通改ム
		給水 船舶給水ハ棧橋會社外2名之ニ從事ス、給水船4隻、水槽船6隻アリ、1日ノ供給能力ハ約600噸、給水料ハ港内給水1噸ニ付40錢ナリ、水質ハ良好ナラズ、外ニ町營給水槽アリ、水質良好ニシテ船舶ノ飲用ニ供ス(昭和7年調)。
112	26至27	* 次ノ通改ム
		水先 水先人3名アリ、要請法ハ水先法施行細則第21條又ハ電請ニ依ル◎乗船地點ハ港界附近、使用船ハ黒塗、白線ヲ有シ中央ニPILOTト白書スル發動機船(4噸)◎水先料ハ水先法施行細則第14條第2號表ニ依ル、水

頁	行	記 事
		先事務所ハ伏木町湊町 63 番地伏木港水先區水先人組合◎水先法、水先法施行細則ハ水路誌附録第 1 卷ニ記載ス。
113	24	(194 度) ヲ (194 度 20 分) ト改ム
113	26	231 度 ヲ 230 度 ト改ム 魚柵 ヲ 魚網 ト改ム
114	2	風候 ヲ 氣象 ト改ム
114	6次	次ノ通追加ス 夏季ハ海陸風顯著ニシテ驟雨性ノ豪雨屢襲來ス、6月7月ノ候霧來襲スルトアリ。
114	16	ノ末尾ニ次ノ通追加ス ◎目下東岩瀬港ヨリ富山市ニ至ル富岩運河開鑿工事進行中ニ屬ス。
114	18	富山市ニ通ズ ノ次ニ 又町ノ東方約 20 町ノ處ニ北陸本線ノ東岩瀬驛アリヲ追加ス 郵便局(電信及電話取扱)ノ次ニ 警察署 ヲ追加ス
114	19	ノ末尾ニ次ノ通追加ス ◎北陸汽船會社ノ北鮮浦鹽航路ノ汽船定期寄港ス、又伏木ニ至ル發動機船ノ便アリ。
114	19次	次ノ通追加ス 物資 米、雜穀、野菜、魚類等ヲ辨ジ得ベク品質ハ概シテ良好ナリ。 目標 富山市ノ西方ニ在ル城山ハ低地ニ聳ユルヲ以テ顯著ニシテ入港目標ト成スコトヲ得◎防波堤モ亦稍顯著ナリ。 燈竿 富山市ノ北西方ニ在ル吳羽山上城山△ノ約 56 度 1.3 哩ノ處ニ 2 箇ノ燈竿アリ、共ニ白光電燈ヲ點ジ岩瀬錨地附近ノ沖合ヨリ望メバ顯著ナリ。
115	3	ノ末尾ニ ◎燈臺ノ側ニ上陸場アリ ヲ追加ス
115	4	魚津町ニ ヲ 魚津燈臺ノ北方海岸ニ ト改ム
115	6次	次ノ通追加ス 燈竿 魚津町ノ東方ニ在ル天神山ニ 1 燈竿アリ、白光電燈ヲ點ズ、魚津附近ノ沖合ヨリ望メバ顯著ナリ。 目標 魚津ノ南方ニ在ル早月川ハ水少ク川筋露出シテ遠望顯著ナリ。 石田港 魚津燈臺ノ北方約 3 哩ニ在リ、水深 10 乃至 20 米、概ネ沙底ニシテ錨搔キ良好ナリ、北ヨリ東ヲ經テ南ニ至ル諸風ノ際ノ良泊地ニシテ北東強風ヲ此ノ地ニ避クル汽船多シ。

頁	行	記 事
		石田ノ村落ヲ挟ミ、南側及北側ニ碇置漁網アリ、此等兩漁網ノ中間石田村落ノ北西方適宜ノ處ニ錨地ヲ選ブベク、石田ノ村落ト北方生地町トノ中間ハ松林ヲ成シ、石田ノ村落ト此ノ松林トノ境界ノ前面水深 13 乃至 15 米ノ處ハ平底ニシテ錨地トスルニ適ス。
		石田村落ノ北西方海岸附近ニ 1 燈竿アリ白光電燈ヲ點ズ。
		石田村ハ人口 3,800 (昭和 6 年調)、石田村落ニ村役場アリ◎黒部電氣鐵道ハ此ノ村落ニ在ル石田港驛ヨリ三日市町ヲ經テ黒部峽谷ノ入口タル宇奈月ニ達シ、三日市驛ニ於テ北陸本線ト連絡ス◎米、食鹽、味噌、漬物等ノ供給ハ豊富ナリ、清水ハ船舶給水ノ設備ナシ。
		近來汽船ノ寄港スルモノ次第ニ増加シ、昭和 5 年ニ於ケル出入船舶ハ 72 隻ヲ算セリ。
		石田港ノ北方約 1 哩ニ在ル生地町ノ沿岸ハ水深大ニシテ錨泊ニ適セス汽船ハ陸岸ニ極メテ近ク碇泊スルコトアリ◎北風ヲ遮蔽スルヲ以テ漁船ノ避泊スルモノアリ◎生地町ノ海岸ニ地方暴風標アリ。
		生地鼻燈竿 生地町北方ノ生地鼻ニ設ク、白塗樞形鐵造、不動白光(電燈)ヲ點ズ、礎上ノ高サ 18.5 米◎附近航行ノ船舶ニ對シ夜間ノ好目標ナリ。
		生地鼻燈竿ノ南東方約 700 米ノ海岸附近ニモ 1 箇ノ電燈ヲ點ズ。
115	7至8	生地ノ鼻(イクヂノハナ) ヲ 生地鼻(イクヂバナ) ト改ム
115	10	生地ノ鼻 ヲ 生地鼻 ト改ム
115	14	沖島 ヲ 沖ノ島 ト改ム 1.1 米 ヲ 0.8 米 ト改ム
115	14	ノ末尾ニ次ノ通追加ス 此ノ岩ト陸岩トノ間ニ高サ 1.1 米及高サ 1 米ノ 2 岩アリ。
116	2次	* 次ノ通追加ス 能生港南方山頂ニ燈竿アリ、白色電燈ヲ點ズ、夜間附近航行船舶ノ好目標ナリ。
116	17次	* 次ノ通追加ス 上陸所 荒川下流右岸永代橋下ニ在リ。
117	6	* 末尾ニ次ノ通追加ス 山頂ニ燈竿ヲ設ケ毎年 4 月至 12 月間白色電燈ヲ點ジ夜間海上ヨリノ好目標ナリ。
117	14次	次ノ通追加ス

頁	行	記 事
		無線電話放送局 直江津港ノ内陸約 32 哩ニ在ル長野市ニ長野放送局アリ。
119	15至16	* 7.7 米 以下 吃水 5.5 米 迄ヲ次ノ通改ム 7.0 米ナルモ現在川口及途中ニ於テ水深 5.8 米ノ處アルヲ以テ吃水 5.8 米
120	13	* 末尾ニ次ノ通追加ス 5,000 乃至 6,000 噸級大型汽船ノ繫留ニ適ス。
120	16	* 水深 6.1 米 ヲ 水深 5.8 米 ト改ム
120	23至24	* 次ノ通改ム 水先 水先人 3 名(縣屬託)アリ、要請方法ハ普通水先法ニ依ル信號(P. T.)ヲ爲セバ常ニ西突堤基部小山山頂ニ設ケタル水難救護所ニ見張人ヲ置キ要請ニ應ズ但シ夜間ハ應ゼズ◎乗船地點ハ燈臺ヲ中心トセル約 1 哩ノ海上、使用船ハ灰色塗發動機船(6.2 噸)◎水先料ハ無料。
121	1次	次ノ通追加ス 無線電話放送局 新日和山望樓ノ南西方約 7.5 鐘ノ處ニ新潟放送局アリ。
121	18次	* 次ノ通追加ス 市ノ東方約 3 哩阿賀野川口左岸ニ飛行場アリ。
124	15	* 2.7 米 ヲ 2.1 米 ト改ム
125	17次	次ノ通追加ス 小木港燈竿 防波堤端ニ設ク、白塗三角形槽形◎不動紅光、明弧全度、燈高、平均水面上 5.6 米、光達 8.5 哩◎無看守。
126	1	* 眞野村大字豊田 ヲ 眞野川口北岸 ト改ム
126	3	* 末尾ニ 尾河内川口南方ニ在ル製材會社煙突ハ顯著ナリ。ヲ追加ス
129	19次	* 次ノ通追加ス 前記上陸所ノ北東方約 200 米ニ燈竿(電燈)アリ、夜間入港ノ好目標ナリ。
130	20	* 粟生島ニ郵便局アリ、ヲ 内浦ニ粟生島村役場、郵便局、駐在所アリ、郵便局ハ ト改ム
133	10	* 町 ヲ 市 ト改ム
133	12	* 本港 ヲ 内港 ト改ム
133	12至13	* 目下 以下ヲ次ノ通改ム 工事進行中ノ處堰止工事ハ略竣工シ浚渫作業モ亦着々進捗シ、現在ノ水深ニテハ 2,000 噸級迄ノ汽船入港可能ト爲レリ(昭和 7 年 6 月)。
133	14至16	* 削除ス

頁	行	記 事
133	18	* 投錨ス ヲ次ノ通改ム 投錨セシモ最上川改修工事完成ノ爲本流ノ放出路ニ當ルヲ以テ酒田燈臺ノ北西方 2,000 米附近ニ投錨スルヲ適當トス
133	25	* 700 米 ヲ 600 米 ト 880 米 ヲ 655 米 ト改ム
133	25次	* 次ノ通追加ス 上記兩防波堤ニ依リ幅員 110 米ノ航路ヲ設ケ内港ニ達セシム。
133	26	* 水深 6 米ノモノ延長 250 米 ヲ削除ス
133	27次	* 次ノ通追加ス 船入場 幅員 145 米、長さ 270 米、水深 7.6 米ノ船入場ヲ設ケ、3,000 噸級汽船ノ錨泊ヲ可能ナラシム。
133	28	* 河内 ヲ 内港 ト改ム
134	1	* 町 ヲ 市 ト改ム
134	11	* 次ノ通改ム 水先 私設ニシテ水先人 3 名アリ、要請方法ハ水先教導所ニ申込置クカ又ハ船舶港口ニ近接シタルトキ萬國船舶信號ニ依リ依頼セバ要請ニ應ズ◎乗船地點ハ港内ハ北西沿岸、沖合ハ防波堤附近、使用船ハ白塗發動機船(4 噸)◎水先料ハ汽船登簿噸數 1 噸ニ付金 2 錢但シ 100 噸未滿ノ發動機船ハ 1 噸ニ付金 5 錢トス。
135	24次	次ノ通追加ス 金浦ノ浦口北角上ニ 1 燈竿アリ、木柱上ニ電燈(不動白光)ヲ點ズ、燈高、平均水面上 20 米、光達 7 哩◎無看守。
135	28次	* 次ノ通追加ス 金浦漁港修築 目下船溜場ノ浚渫擴張工事施行中ナリ(昭和 8 年)。
137	23	* 幅狭ク ヲ 幅約 40 米 ト改ム
137	24	* 0.9 乃至 1.2 米アリ ヲ 2 米ヲ超エズ ト改ム
137	25	* 1.8 米 以下ヲ 淺所ニテ約 3 米アリ。 ト改ム
138	1次	* 次ノ通追加ス 上陸所ハ子吉川ヲ上リ本莊町古雪ニ在リ、小發動機船ノ達着可能ナリ。
138	19次	* 次ノ通追加ス 川口附近ニ於テハ河流ト波濤相激シテ大ナル三角波ヲ起シ小艇ノ通航困難ナルコトアリ。
139	7	* 末尾ニ 燈光貧弱ナリト謂フ。 ヲ追加ス
139	19次	* 次ノ通追加ス

頁	行	記 事
		水先 水先人 4 名アリ、要請法ハ水先信號旗ヲ揚グ○乗船地點ハ雄物川 銚子口○水先料ハ 1 隻金 2 圓乃至 5 圓○本港水先ハ雄物川川入ノ小型帆船及 發動機船ニ對シテ行フ水先案内ニ過ギズ。
139	21次	次ノ通追加ス
		無線電話放送局 秋田市ノ東部ニ秋田放送局アリ。
141	7次	* 次ノ通追加ス
		船入場(北方)ニ導燈ヲ設ケ綠、白 2 燈ヲ點ズ、此ノ 2 燈ヲ一線ニ見テ進メ バ水深 2.4 米ノ處ニ導ク。
141	12	* 南方ニ在ル著屋 ヲ 北方ニ在ル著屋(旗竿ヲ有スル赤色屋根鼠色木造 洋館)ト改ム
141	21至24	* 次ノ通改ム
		繫船岸壁 防波堤ノ内方、港ノ南西隅ニ延長 360 米ノ繫船岸壁ヲ設ク、 岸壁ノ前面及之ニ至ル通路ハ水深 5.1 乃至 6.5 米ニ浚渫シアリ、航路北側ハ 浚渫未済ノ箇所アルヲ以テ注意ヲ要ス。
		繫船浮標 港内ニ繫船浮標 5 箇(1,500 噸用 4 箇、3,000 噸用 1 箇)ア リ。
142	5	* 郵便局 ノ次ニ 税關 ヲ追加ス
142	6	* 淡水 以下ヲ次ノ通改ム
		船入場岸壁ニ 1 日 100 乃至 200 噸ノ給水設備アリ(昭和 7 年調)。
145	10次	* 次ノ通追加ス
		能代港町ノ北東方ニ東雲原飛行場アリ。
149	14次	* 次ノ通追加ス
		龍飛埼燈臺 龍飛埼南西方山頂附近ニ設ク、白塗圓筒形「コンクリート」 造○群閃白光、毎 28 秒ニ 2 閃(毎 21 秒ヲ隔テテ 7 秒間ニ 2 閃光)、明弧 29° 至 280°間、燈高、平均水面上 119 米、光達 27.5 浬○霧笛アリ、毎 58 秒ニ 2 回吹鳴(吹鳴 2.5 秒、休止 3 秒、吹鳴 2.5 秒、休止 50 秒)。
149	15至18	ヲ削除ス
155	5至6	沈船 ノ記事ヲ次ノ通改ム
		沈船 西防波堤燈臺ヨリ 71 度 3.5 鏈ニ 1 沈船(海平丸)アリ、沈船 上ノ水深ハ 12.5 米アリ、此ノ沈船ハ船體ノミ殘留シ橋ハ除却シアリ(大正 15 年)。
155	7次	* 次ノ通追加ス
		水先人 當港ニハ水先人ナシ。

頁	行	記 事
159	24	* 顯著ナリ ノ次ニ次ノ通追加ス
		又大平西方約 2.5 鏈ニ在ル赭色ノ著崖ハ入港ノ際好目標ナリ。
160	3次	次ノ通追加ス
		大湊要港ノ境域ハ海圖上點線ヲ以テ記載ス。
		大湊港ニ入港セントスル船舶ハ軍港要港規則及大湊要港細則ヲ遵守スルヲ要 ス○同規則及細則ハ水路誌附録第 1 卷ニ記載ス。
160	11次	次ノ通追加ス
		要塞地帯 西方黒崎ヨリ東方濱奥内附近ニ至ル大湊港内ノ水域ハ要塞地 帯法ニ據ル海軍防禦營造物ノ地帯及區域内ニ屬ス○要塞地帯法、同施行規則 及大湊ニ於ケル海軍營造物ノ地帯及區域ニ關シテハ水路誌附録第 1 卷ヲ参照 スベシ。
163	14次	* 次ノ通追加ス
		大間崎無線方位信號所 大間崎燈臺内ニ無線方位信號所ヲ設ケ昭和 7 年 12 月ヨリ無線羅針局及無線標識局ノ業務ヲ開始セリ、執務時間無休○通信法 等ニ關シテハ水路誌附録第 3 卷ヲ参照スベシ。
		要塞地帯 大間崎附近ヲ中心トシテ西方佐井附近ヨリ東方下風呂附近ニ 至ル間ハ要塞地帯法ニ據ル陸軍防禦營造物ノ地帯及區域内ニ屬ス○要塞地帯 法、同施行規則及津輕ニ於ケル陸軍防禦營造物ノ地帯及區域ニ關シテハ水路 誌附録第 1 卷ヲ参照スベシ。

頁	記 事
地名索引 2 頁右欄	Esaki Guri エサキグリ ノ上ニ次ノ通追加ス
	Ebosi Sima 烏帽子島 …… 106
同 3 頁左欄	Etizen Misaki 越前岬 ノ次行ニ次ノ通追加ス
	Etomo kô 惠曇港(江角浦) …… 42
	Ezumi Ura 江角浦 …… 42 次ノ通改ム
	Ezumi 江角 …… 42
同 3 頁右欄	Hama 濱 ノ上ニ次ノ通追加ス
	Hakusanno Mori 白山ノ森 …… 99
	Hane Yama 羽子山 ノ次行ニ次ノ通追加ス
	Haneno-Naka Guri 羽根ノ中礁 …… 101

頁	記	事
地名索引 4 頁左欄	Hino Misaki 日ノ岬	41 } ヲ次ノ通改ム
	— Kawa 日野川	46 }
	Hino Kawa 日野川	46
	Hinomisaki 日御碕	41
同 5 頁左欄	Ikuzino Hana 生地ノ鼻	ヲ Ikuzi Hana 生地鼻 ト改ム
	Ikuzi Hana 生地鼻	ノ次行ニ次ノ通追加ス
	— Mati 生地町	115
	Ime Guri 伊目グリ	ノ次行ニ次ノ通追加ス
	Imozi Guri イモジ礁	101
同 5 頁右欄	Isikane Iwa 石金岩	ノ上ニ次ノ通追加ス
	Isida Kô 石田港	115
同 6 頁左欄	Kamabuse Yama 釜臥山	ノ次行ニ次ノ通追加ス
	Kamanakairi 釜中入	100
同 6 頁右欄	Kara Sima 唐島	106 } ヲ次ノ通改ム
	Kara Sima 唐島	110 }
	Kara Sima 唐島	ノ次行ニ次ノ通追加ス
	Karasu Sima 鳥島	106
	Karasu Sawa 鳥澤	ヲ Karasusawa 鳥澤 ト改ム
同 7 頁右欄	Koguti Seto 小口瀬戸	ヲ Koguti 小口 ト改ム
同 8 頁左欄	Kuratino Guri クラチノグリ	ノ次行ヲ次ノ通追加ス
	Kureha Yama 呉羽山	114
同 9 頁左欄	Mategatauti 蛭瀧内	ノ次行ニ次ノ通追加ス
	Matu Hana 松鼻 (野碕)	104
同 9 頁右欄	Mituki Sima 見附島	ノ次行ニ次ノ通追加ス
	Miya Saki 宮碕	104
同 10 頁右欄	Nagahama Byôti 長濱鰯地	ノ次行ニ次ノ通追加ス
	Nagano Si 長野市	117
	Nagao Hana 長尾鼻	ノ次行ニ次ノ通追加ス
	Nagate Saki 長手碕 (小泊鼻)	99
	Nakamo Syô 中藻礁	ヲ Nakamo 中藻 ト改ム
同 12 頁左欄	Oguti Seto 大口瀬戸	ヲ Oguti 大口 ト改ム
同 12 頁右欄	Okino Se 沖ノ瀬 {笠浦}	} ノ次行ニ次ノ通追加ス
	— Sima 沖ノ島 {島後}	

頁	記	事
	Okino Sima 沖ノ島 {宮崎鼻附近}	115
	Ônakama 大仲間	ノ次行ニ次ノ通追加ス
	Ônami Se 大波瀬 (ミグリ)	101
地名索引 14 頁左欄	Simo Guri シモグリ	ノ次行ニ次ノ通追加ス
	Simodano-Naka Guri 下田ノ中礁	101
	Simozyama Guri 下邪麻礁	ノ次行ニ次ノ通追加ス
同 14 頁右欄	Sin Saki 新碕 (福浦碕)	109
	Siriya Saki 尻矢碕	ノ次行ニ次ノ通追加ス
	Siro Guri 白礁	110
	Siroisi Guri 白石礁	ノ上ニ次ノ通追加ス
同 15 頁左欄	Siro Yama 城山 {東岩瀬港附近}	114
	Suso 須曾	ノ次行ニ次ノ通追加ス
	Susono-Byôbu 須曾ノ屏風	109
	Syaku シャク	65
	Syakuri シャクリ {津居山港}	63 } ヲ次ノ通改ム
	— — {久美濱}	65 }
	Syaku シャク {平井ノ鼻附近}	63
	— — {津居山港}	65
	Syakuri シャクリ	65
同 16 頁左欄	Tatibana Guri 橋礁	ノ次行ニ次ノ通追加ス
	Tatuga Saki 龍ヶ碕 (輪島碕)	97
	Tenzin Sima 天神島 {須佐港}	} ノ次行ニ次ノ通追加ス
	— — {大橋川}	
	Tenzin Yama 天神山	115
	Tenzin-Awase 天神合セ	107 } ヲ次ノ通改ム
	Tenzinnawase 天神合セ	107
同 17 頁左欄	Uomatino Hana 魚待ノ鼻	ノ次行ニ次ノ通追加ス
	Uomi Hana 魚見鼻	43
同 17 頁右欄	Usugi Saki ウスギ碕	ヲ Usugi Saki 大杉碕 (ウスギ碕) ト改ム
	Waka Dasi 和歌出シ	ヲ Wakadasi 若出シ (和歌出シ) ト改ム

(終)

昭和8年6月28日印刷

昭和8年6月30日發行

發行者 水路部

東京市京橋區築地5丁目

印刷者 水路部

東京市京橋區築地5丁目

販賣所

東京市麴町區丸ノ内2丁目20番地ノ1	日本郵船株式會社
橫濱市中區海岸通リ3丁目9番地	同 橫濱支店
名古屋市中區天王崎町4番地	同 名古屋支店
大阪市西區川口町26番地	同 大阪支店
神戸市神戸區海岸通リ1丁目10番地	同 神戸支店
門司市門司字棧橋通リ1番地ノ1	同 門司支店
長崎市常盤町4番地	同 長崎支店
函館市船場町19番地 (近海郵船株式會社 函館支店)	同 函館代理店
小樽市手宮町3丁目15番地 (近海郵船株式會社 小樽支店)	同 小樽代理店
臺灣基隆市明治町1丁目8番地 (近海郵船株式會社 基隆支店)	同 基隆代理店
朝鮮釜山府大倉町1丁目6番地 (朝鮮郵船株式會社 釜山支店)	同 釜山代理店
大連市山縣通リ181番地	同 大連出張所
中華民國上海黃浦灘路第31號	同 上海支店
神戸市神戸區明石町32番地	日本船主協會

(定價金24錢)



清江雜記

卷之二

清江雜記

目錄

清江雜記

目錄

清江雜記

清江雜記	目錄	一、清江雜記
清江雜記	目錄	二、清江雜記
清江雜記	目錄	三、清江雜記
清江雜記	目錄	四、清江雜記
清江雜記	目錄	五、清江雜記
清江雜記	目錄	六、清江雜記
清江雜記	目錄	七、清江雜記
清江雜記	目錄	八、清江雜記
清江雜記	目錄	九、清江雜記
清江雜記	目錄	十、清江雜記
清江雜記	目錄	十一、清江雜記
清江雜記	目錄	十二、清江雜記
清江雜記	目錄	十三、清江雜記
清江雜記	目錄	十四、清江雜記
清江雜記	目錄	十五、清江雜記
清江雜記	目錄	十六、清江雜記
清江雜記	目錄	十七、清江雜記
清江雜記	目錄	十八、清江雜記
清江雜記	目錄	十九、清江雜記
清江雜記	目錄	二十、清江雜記

(續前卷)



水-47



1200501443923

47

水

47